

第3期地域福祉活動計画がスタートします

多治見市社会福祉協議会では、地域住民や関係機関・団体等と協力して地域の福祉課題を解決するための目標と地域福祉の活動を示した地域福祉活動計画を策定しており、本年4月からは新たに第3期計画(平成26～30年度)が始まりました。

本会はこの計画をもとに、福祉活動の推進に取り組むこととしておりますので、住民の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。


《基本理念》

支えあい みんなで育てる この地域

地域のために何かをしたい、ふれあいを大切にしたい、困ったときは助け合う、そうした想いと人とのつながりが地域の力になります。すべての住民が普段の暮らしの中で幸せを実感できる住民の住民による住民のための地域福祉づくりを進めます。

《重点的に取り組むこと》

- 福祉委員制度の改革
- 地域福祉協議会の設立

 計画の詳しい内容は、本会ホームページをご覧ください。

社協会費を活用

ボランティア活動助成事業の報告

多治見市内のボランティア活動の活性化と地域福祉の向上を目的に、平成24年度から26年度までの3年間、ボランティア団体から応募された事業に対して助成金を交付しています。この助成事業は、皆様からご協力いただいた社協会費を財源に実施しており、今年度は、以下のボランティア団体が実施した事業に対して、助成を行いました。

<p>東日本大震災復興支援& 多治見市レクリエーション協会 15周年記念事業</p>	<p>虎溪山の再生と里山教室事業</p>	<p>障がい者とその家族の パソコン支援講習会</p>
<p>多治見市レクリエーション協会 助成額89,901円</p>	<p>虎溪山の里山づくり 助成額58,544円</p>	<p>耀の会 助成額100,000円</p>
<p>イベント当日は悪天候のため、メインのウォークラリーは中止となりましたが、募金活動とおとして東日本大震災への再認識を広め、集まった募金を被災地の小学校に届けました。</p>  <p>被災地の<small>ゆりあけ</small>小学校にて</p>	<p>虎溪山の放置林を歩道として整備し、里山教室では植樹体験をとおして自然景観や史跡の保護が大切であることを学びました。</p>  <p>植樹をする参加者</p>	<p>障がい者やその家族が社会とのかかわりを持ち、情報入手ができるように、パソコン講習会を開催しました。</p>  <p>熱心に受講する参加者</p>